市ー4

熊本市再犯防止推進計画（素案）に対するパブリックコメントの結果について

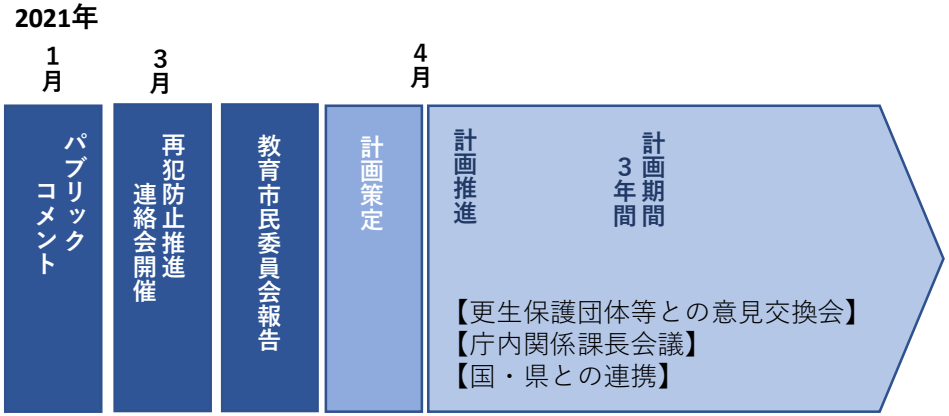
令和3年3月　文化市民局生活安全課

1　パブリックコメントの結果　（意見募集期間：令和2年12月28日～令和3年1月31日）

- 意見の提出状況　　意見を提出された方の人数　47人　　意見の件数（まとまりごと）　81件
- 対応状況

【対応1】補足修正　6件　　【対応2】既記載　45件　　【対応3】説明・理解　14件
【対応4】事業参考　14件　　【対応5】その他　2件

主な意見の種類	意見の内容（抜粋）	対応策（案）
（1）素案全体について <5件>	①イメージアップのためにも、対象者を「新生活を望む人」等のような、新たな名称が必要ではないか。 ②新型コロナ対策について、計画の中で言及したほうがよいのではないか。	①新たな名称については、今後の事業を実施するうえでの参考といたします。 ②新型コロナウィルス感染防止は、各施策を実施する中で、適切に対応してまいります。
（2）計画策定の趣旨について <9件>	①少年の一般的な非行防止対策と、犯罪をした少年の非行、対策等は大きな違いがあると思うが、区別して協議してあるのか。 ②犯罪をした人が、更生の思いを持って、地域社会の理解を得ながら、地域社会にとけ込み暮らしていけることが一番大事だと考える。	①非行の未然防止の対応と少年の再犯防止の対応には、異なるところもあるため、「少年非行・被害の未然防止への支援」と「犯罪をした人等の特性に応じた指導・支援」のそれぞれについて関連機関・団体等と連携し取り組んでまいります。 ②対象者が社会復帰を目指すうえで、更生の思いは欠かせないものであり、そのことが地域社会の理解にもつながるものと考えます。
（3）再犯防止を取り巻く現状と課題について <5件>	①薬物事犯は特別法犯なのか、わかりやすくしてほしい。 ②保護司の定員不足に対する方策を。	①薬物事犯に関しては、ご指摘を踏まえわかりやすいように注釈を加えます。 ②保護司の人材確保にあたって、ホームページ等での、保護司活動の紹介などの取り組みを行います。

主な意見の種類	意見の内容（抜粋）	対応策（案）
（4）基本理念・基本方針について <3件>	①成果目標の「再犯者数」を「再犯者率」とすべきではないか。	①再犯者率は、刑法犯検挙件数の増減に影響を受けることから、本計画では、一人でも多くの再犯者を減らすことが重要との考え方のもと、再犯者数を目標値に設定しております。
（5）施策の展開について <55件>	①保護司活動にあたり、市が管理する公民館等の利用を、保護司からの予約により活用できないか。 ②セーフティネット住宅登録制度は、大変良いと考える。住居の確保に苦労する話を聞くので着実に進めて欲しい。 ③就労に向けた相談・支援等の充実のため、協力雇用主制度の理解促進が重要。さらに、協力雇用主以外の協力も必要。 ④求人情報誌「チェンジ」を九州各県の刑務所担当課へ配布すれば、熊本市へ帰住する受刑者の、社会復帰の第1歩に資すると思料します。 ⑤保護観察終了後もケアを続けるケースがあることから、支援者のスキルアップの方策、支援者への支援も考えて欲しい。	①保護司会等とも協議しながら、活動の支援と対策に取り組んでまいります。 ②住宅の確保にあたっては、熊本市居住支援協議会や更生保護施設とも連携して支援してまいります。 ③”社会を明るくする運動“等を通じ、更なる啓発に努めるとともに、経済団体にもご協力いただきながら計画を推進してまいります。 ④求人情報誌は、関連機関・団体等の他、県外を含め、出所後に熊本への帰住希望者が入所している矯正施設にも送付いたします。 ⑤保護観察所等の関連機関と情報共有し、今後の施策の参考といたします。
（6）その他 <4件>	①進捗管理のあり様が、本計画の実質を左右するのでしょうか。「管理」の具体的な方法を見える化すべきでは。	①本計画の進捗管理に関しては、各施策の実施状況を関係課長会議や再犯防止推進連絡会議において確認・評価を行い、参考指標も踏まえつつ、必要に応じて計画の変更や事業の見直しを行うこととしております。

2　今後のスケジュール